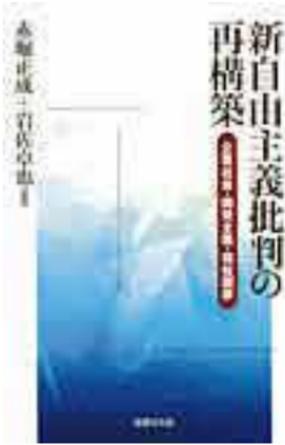


*書評と紹介

『新自由主義批判の再構築——企業社会・開発主義・福祉国家』

(赤堀正成・岩佐卓也編著)

『前衛』2010年12月号(日本共産党発行)



(法律文化社、2010年8月
3,150円(税込))

「新自由主義」と、それを「新しい福祉国家」論を対抗軸として批判する一部の論者との「親和性」「共闘」については、つとに指摘されてきた。本書は、その親和性の寄って来たところを、これら論者の「企業社会」論と「開発主義」論を機軸に読み解き、その一面的事実認識と理念的論理展開、労働者・国民のたたかひの成果の側面の過小評価を鋭く批判し、実践的帰結の非現実性と危険性を指摘する。

労働組合組織論からいえば、この論は、既存の企業別労働組合を内部から変革する道を否定し、「周辺」労働者の個人加盟ユニオンを絶対視する観念的論議と結びつき、運動論からいえば、資本とのたたかいの回避と対政府（対官僚）闘争への一面化と結びつく。
時宜をえた出版である。

書評98・『前衛』2010年12月号（京都の法律文化社のサイトより）

http://www.hou-bun.com/05review/05_098.html

◇現代労働組合研究会のHPへ（TOP）

<http://e-kyodo.sakura.ne.jp/roudou/111210roudou-index.htm>